

特定非営利活動法人 ピアソン会

第73号

2017. 3.31

ピアソン便り

発行人：吉田 邦子（理事長） 編集人：伊藤 悟（理事）

ピアソン会事務局
(事務局長 伊藤 悟)

〒090-0036

北見市幸町7丁目4番28号

TEL・0157-31-1215

ピアソン記念館内

AM.9:30～PM.4:30

e-mail アドレス

pierson@yacht.ocn.ne.jp



北見の冬は寒くて大変！ そんな冬を手づくりの温かい飲み物と、入浴剤で楽しもうと、ピアソンハーブ研究会の講習を2月26日（曜日）に開催しました。午前と午後の2回の講習に17組の参加があり、和気あいあいにオリジナルハーブティーと入浴剤を作っていました。

今回の講習会は、サロン形式でソファアに座り、寛いだスタイルでの実践、また入浴剤作りでは、その香りや効能を肌で感じ取れるようにと、洗面器にお湯と作った

第15回文化サロンのピアソン

「ハーブティーブレンド&入浴剤作り」講習会終了！

入浴剤を入れ、その湯気を顔に当てて美容効果？を確かめたりしていました。

ピアソン記念館では、これまで真冬の講習会等は、暖房の関係で出来ないと考えていましたが、講師の増井さんと小林さんは、「この時期こそ生活の知恵を使って、心



【写真上】講習会の説明を聞きながら、テーブルに置かれた各種のハーブや素材の確認をする参加者のみなさん。会場の部屋は、ピアソン邸当時の客室。

が豊かになるもの作りを！、きつとピアソン夫人も、この家で野付牛の婦人たちとそうしていたと思います」と、積極的に今回の講習会を企画してくださいました。今後は来館者の少ない冬期間には、この企画を参考として、多様な講習会を実践できるのではと確信しました。

出来上がった作品には、思いを凝らしたラベルを付け、家族へのお土産として、各自持ち帰りました。笑い声の絶えない講習会でした。

【写真上】増井・小林講師の説明を聞きながら、独自のブレンドでハーブティー作りを試みる。

【写真左】出来上がった作品に、独自の名前を付けパッケージ化する。

ピアソン会「総会」の開催案内

- ◎ 開催日時 : 2017年5月27日(土) 午後4時30分
- ◎ 開催場所 : ピアソン記念館内 北見市幸町7丁目4番28号
- ◎ 参加資格 : 運営会員・賛助会員・団体会員・その他
- ◎ 総会内容 : 2016年度事業・決算報告、2017年度事業・予算(案)、
- ◎ その他 : 総会終了後、希望者による懇親会を予定。(オホーツクビール園/参加費2,500円)

※会員へは後日総会参加案内ハガキを送付いたします。

緊急リニューアル 「ピアノン会ホームページ」



2002（平成14）年9月から、本年3月15日まで公開されていたピアノン会のホームページは、現在リニューアルされ、全く新しいホームページとなり公開されています。

永い間親しんでいただいていた当会ホームページ担当の理事が昨年の9月から病氣療養に入り、ホームページ更新が出来ない状態が半年続いていたため、緊急にホームページをリニューアル致しました。

以前のホームページと基本形は同じ形態をとっていますが、今回のホームページでは、全面に「ピアノン記念館」情報を盛り込んで



①最初のページを含め14ページで構成しておりますが、その内7ページ半を「ピアノン記念館」の案内で構成しました。

②「ピアノン記念館について」このページでは、外国語音声ガイドダンス、北見市指定文化財であること、北海道遺産の案内、また

③「開館時間／開館日・休館日」電話による休館日や開館時間の照会が多い事から一年間の開館・閉館日予定を掲載しました。

④「ピアノン記念館への地図」ピアノン記念館までの市内地図略図を配置しました。また、大型バスの駐車場は無い旨を明記しました。

⑤「ピアノン記念館の案内」現在のピアノン記念館展示室の配置図、敷地面積、建物の面積などの案内。

⑥「ピアノン記念館の概略」ピアノン邸の歴史の変遷の概略を説明しています。児童相談所として利用されていた時代の事も明記しました。

⑦「ピアノン夫妻について」ピアノン夫妻の出生から北見へ至るまでの概略を説明しています。

⑧「ピアノン邸の設計」設計者、ヴォーリズの紹介をしています。

⑨「会報『ピアノン便り』」このページから当会のページとなります。ここでは、「ピアノン便り」のバックナンバー11号分を遡って読む事が出来ます。

⑩「各種行事案内」このページでは、ピアノン記念館で実施される各種行事や、ピア

英語の案内ページへ導入できるようにしてあります。

⑪「NPO法人ピアノン会から」NPO法人の活動条件として必要最小限の活動内容公示が義務付けられています。ここに活動内容を公開しています。

前年度の事業報告、決算報告、次年度の事業計画、予算案など。

⑫「出版物、グッズの販売」ピアノン記念館内でのピアノン会独自の出版物やグッズ類を紹介し、頒布の案内コーナーです。

⑬「ピアノン会編集室から」ピアノン会の編集室から、会の情報や街の情報、あるいはヴォーリズ関連の情報を随時提供するようになります。

⑭「情報交換の場」ピアノン記念館や、ピアノン会への連絡用のページとして設けま

このサイトは、北海道道庁「ピアノン記念館」ピアノン会とNPO法人に関するホームページです。
〒060-0036 北見市南7丁目4番29号 電話0157-23-2546 〒1 開設2009年9月30日

情報交換の場

ピアノン会メールアドレス pierson@yacht.ocn.ne.jp

ピアノン記念館&NPOピアノン会へご意見、お知らせ、お問い合わせなどある方は、上記メールアドレスへメールを送信して下さい。掲載させていただくかの判断は誠に勝手ではありますが、当編集室にて一任いただきたく、御了承をお願い致します。

NPO法人ピアノン会（北見市指定管理者）編集室担当

HOME > ピانوン記念館について > 情報交換の場

| | |
|---------------|---|
| ■ピアノン記念館について | HOME > ピانوン記念館について > 情報交換の場 |
| ◎開館時間・開館日・休館日 | 東京Aさんから 元気です。YouTubeで歌手MISIAの「恋は枯れないずっと」のプロモーションビデオがアップロードされているのを見ていました。すると、懐かしいピアノン記念館がその中に出て来たのでビックリしました。「まさか！ えっ！ 本当にピアノン記念館だ！」と驚きの声で叫びながら涙の涙が頬を伝って落ちて、とても感動が伝わって来ました。そろそろご連絡させていただきます。また、ご連絡します。 2017.3.15 |
| ◎ピアノン記念館への地図 | 北海道札幌Bさんから 雪が降りて来ます。いつもピアノン便り楽しみにしています。原稿を送った場合ピアノン便りに掲載されますか？ 2017.3.1 |
| ◎ピアノン記念館の案内 | 北見市「シマフクロウ」さんから 3月12日に札幌から北見へ車で来ました。札幌を離れたのは朝の10時半頃でした。春の到来を告げるかの様な桜やかたのけい白菜しげが降り注ぐ道南道沿を北見に向って走って来ました。冬明けから数度1月と2月の北見から札幌まで道の途中を車で走りまわりましたが、同じ道のりが気候によってこんなに違うものかと実感させられました。 2017.3.15 |
| △ピアノン記念館の概略 | |
| △ピアノン夫妻について | |
| △ピアノン邸の設計 | |
| ■会報「ピアノン便り」 | |
| ■各種行事案内 | |
| ■NPO法人ピアノン会から | |
| ◇出版物、グッズの販売 | |
| ◇ピアノン会編集室から | |
| 情報交換の場 | 編集室から 2017.3.16記、 札幌のBさんから、ご投稿ありがとうございます。当会の活動主旨に |

ソンの行事等をお知らせします。

⑪「NPO法人ピアノン会から」NPO法人の活動条件として必要最小限の活動内容公示が義務付けられています。ここに活動内容を公開しています。

前年度の事業報告、決算報告、次年度の事業計画、予算案など。

⑫「出版物、グッズの販売」ピアノン記念館内でのピアノン会独自の出版物やグッズ類を紹介し、頒布の案内コーナーです。

⑬「ピアノン会編集室から」ピアノン会の編集室から、会の情報や街の情報、あるいはヴォーリズ関連の情報を随時提供するようになります。

⑭「情報交換の場」ピアノン記念館や、ピアノン会への連絡用のページとして設けま

この緊急リニューアルのホームページは、今後みなさまのご意見を伺いながら、より見やすく利用しやすいホームページを目指して手直しをしていく計画です。今回のホームページはピアノン会の理事が作成したものですので、更新や手直しは頻繁にできるような体制です。最低でも月に一回は更新して行きたいと考えています。

みなさまからお寄せくださるご意見や情報などをお待ちしております。

(ホームページ編集室)

「ピアノン便り」発行スポンサー募集!

当会発足当初から、原則季刊発行(年4回発行)として「ピアノン便り」を発行してきましたが、ピアノン記念館運営にかかわる(北見市指定管理者)法人になったこと

ようにかかわっていたのか、写真も記録もあまりありません。1998(平成10)年10月に、「ピアノン便り」創刊号が、初代事務局長故田村喜代治牧師によって発行されます。ピアノン会設立の経緯と、ピアノン記念館に対する要望や協力について語られています。以来、本号まで約18年間に号外や特別号を含め75回の発行を数えるに至りました。18年間の貴重な記録が残されるようになっていきます。

『ホームページなどでの伝達でも良いのでは?』との意見もあります。長所として経費がかからないという利点がありますが、ニュースの保存記録という点では『残らない』という欠点があります。

今後、社会全般の記録がデジタル化されていく傾向にあります。そんな時代に「ピアノン便り」のようにアナログで、ピアノン記念館に特化したテーマの記録媒体は、益々貴重なものとなっていくと考えますし必要なものと思います。

「ピアノン便り」は、ピアノン記念館にかかわる人々の、知の集積を記録として、未来の世代に残そうとして発行しているものです。

ピアノン便りは、ピアノン記念館にかかわる人々の、知の集積を記録として、未来の世代に残そうとして発行しているものです。

ピアノン便りは、ピアノン記念館にかかわる人々の、知の集積を記録として、未来の世代に残そうとして発行しているものです。

ピアノン便りは、ピアノン記念館にかかわる人々の、知の集積を記録として、未来の世代に残そうとして発行しているものです。

ピアノン便りは、ピアノン記念館にかかわる人々の、知の集積を記録として、未来の世代に残そうとして発行しているものです。

ピアノン便りは、ピアノン記念館にかかわる人々の、知の集積を記録として、未来の世代に残そうとして発行しているものです。

スポンサー募集!

広告見本

30 ミリ × 50 ミリ

縮刷保存版「ピアノン便り」第2集(第20号〜第60号) A5版 156ページ

カラー仕上げ
予約販売 3000円

縮刷保存版「ピアノン便り」第1集(創刊号〜第19号) A5版 116ページ

カラー仕上げ
予約販売 2500円

広告見本

ホームページ作成します

ボランティア価格にて
※詳細は、ピアノン会ホームページ編集室にてご相談ください。



啓「ピアノン学事始め」①

ピアノン会理事 伊藤 悟

この「ピアノン学事始め」は、15年前に街の情報誌に書かれたものですが、少し手を加え年号なども修正し改稿として連載します。



写真/「六月の北見路」で、雄武の医師のペットとして紹介されているシマフクロウ。

(1) 「ピアノン」を学ぶということ

1998年の秋に、故田村喜代治牧師の尽力により、「ピアノン記念館」のサポーター的役割を果たす「ピアノン会」と云う会が誕生した。私はその設立の会に参加し、即会員登録をした。その事がその2年後に、定年退職年を5年残して早期に退職する切っ掛けになるうとは想像もしていなかった。

会の設立から1年が経過し、私も会の役員として事務局を担当する事になったが、当時の職場は土日や祝祭日がすべて勤務日であり、ピアノン会の活動をするには極めて無理があった。そんな時期に「北海道遺産」構想が道庁から発表された。ピアノン会はこの構想を全面的に支持し、「ピアノン記念館」も北海道遺産に認定されることを夢見て、そのための活動を会員一同全精力を挙げて行なうことになった。

2001年、私は職場で時間を拘束されるより、ピアノン会活動の方が、楽しみも生き甲斐もあることを感じ職を辞した。そしてそ

年の秋に運良くピアノン記念館は北海道遺産に認定された。

2002年の暮れ、ピアノン夫妻が明治43年、北見の国を訪れ書いた紀行文「THROUGH KITAMI IN JUNE」を、ピアノン夫人の原文(英文)と訳文両方を収めた改訂版「六月の北見路」を出版する予定で準備を進めていた。英語力のない私ではあるが、毎日英語の原文を原本から入力していると、その中に訳文からでは感じられない、不思議な何かを読み取れるような気がしてくるから奇妙であった。今後、私なりにピアノン夫妻について感じた事を書いてみようか、などと思うようになり「ピアノン学事始め」を書ききりかけとなった。今から15年も前の事である

「ニュージーランドからの便り」第6回

〜ピアノン会顧問 グラハム・ハード氏〜

*2017.1.27

ピアノン便りを読み、ピアノン記念館での最近の様々な活動を知るのは楽しいことでした。目的を成し遂げていることをいつも印象深く思っています。

ニュージーランドの今年の夏はいつもと違って涼しくまた荒れていましたが、やっと暖かい夏の日々に戻りました。しかし、生徒たちには遅すぎで、夏休みは先週で終わってしまったのでした。ある人たちは休暇間をずらしたらいよいよと言っています、それは全く複雑な問題で、試験のスケジュールにも影響するでしょう。

今月早々ワンガヌイでゆっくり休息できました。何本もあるプラムの1本の木に実が熟してしましました。この木に実がなったのは初めてでした。黄色い果肉のとても美味しいもので、おすそ分けするほど十分にありました。この小さな家のベランダの下にウサギの一家が住んでいて、夕方になると小ウサギたちが芝生の草を食べに出てきます。とてもかわいいのですが損害を与えます。この季節、牧草



の成長はよく、羊や家畜は順調に成長していますが、家畜の値段は特に羊毛はとても低価格で、農家は重労働にもかかわらず収入は厳しい模様です。

果樹の周りの草刈りを済ませ牧草地のアザミを切り取りました。戸外の作業は楽しいですが思うほどの時間は全然取れません。

弟が数日滞在し、南島のネルソンへ友人とサイクリングに出かけました。好天に恵まれとても楽しい時間だったと。

私たちは、ワンガヌイに近いトゥラキナにある墓地で曾祖父トマス・ジャクソン・ウォリスのお墓の墓石の修復をしました。トゥラキナは私たちが子供時代に農場で両親と一緒に住んだ所です。お墓は村を一望できる美しい丘の上の所にあり、墓地はよく維持されていますが墓石が崩れていました。1942年に出来たもので、修復が必要な

も驚くにあたりません。碑文は曾祖父に関しフィジでの宣教師としてまた後年ニュージーランドのメソヂスト教会牧師としての貢献に言及しているものでした。

昨日オークランド市へ出かけて来ました。オークランド美術館で画家ゴットフリッド・リンダウアーのマオリ肖像画特別展を見に行きました。彼は中央ヨーロッパのボヘミア生まれで、画家として修業し、19世紀ニュージーランドへ来ました。当時の優れたマオリ人の肖像画で有名です。上等の伝統的な衣服を身につけ、キウイの羽根飾りのマントや髪にフィアの羽根を飾っているマオリを表し、ほとんどの男性は顔全体に入れ墨をしています。彼らは堂々として大変力強く威厳があります。蠣崎波響によるアイヌ首長たちの肖像画を思い出させました。

ピアノン会の人々によくお伝えください。

*2017.2.8

ここは真夏の暑さが続いて、昨日は30度まで上がり高い湿度でした。先日弟と私はここから北へ1時間ほどのワークワースの町へドライブしました。その地方の開拓時代の品々から素晴らしい展示がされているとても優れた地域博物館



地図データ ©2017 Google 20 km

館に立ち寄りしました。ボランティアの人々によって維持管理されています。近くには、かつて辺りを覆っていたカウリ森林の名残りが森林保護区となっています。ミレニアム・プロジェクトとして地域ライオンズクラブ造成の見事な樹木や美しい歩道があります。オークランドへの交通網が整い急速に発展しています。

昨日、5月末から6月の北海道旅行を予約しました。北見へは6月初めを予定しています。皆さんとの再会を楽しみにしています。

編集後記

2016年度も終わり、いよいよ新年度を迎えます。今年度は大きな事業は特にありませんでしたが、このピアノン便りの季刊(年4回)発行を、隔月刊(年6回)の発行としたことがありますが、2回増で約8万円の経費が増となるので、会報に広告などを入れ、スポンサーを募集しなければならなくなりそうです。

ピアノン会のホームページのリニューアル作業が終了しました。しばらく様子を見、さらに修正したいと思っています。ご意見をお寄せください。今後はすぐにご意見を反映させることができるシステムとしています。(理事兼事務局長) 伊藤 悟